

じたくたいき  
コロナ自宅待機者に配布された計  
測器で注目された血中酸素濃度。  
大切なのは酸素濃度の維持です。

どうすれば、安定した血中酸素濃度を維持できるでしょうか。

「睡眠時無呼吸症候群」は、睡眠時に断続的に呼吸が止まることで、睡眠中に血中酸素濃度が下がります。この不十分な血中酸素濃度から熟睡感を得られず、日中に不意に睡魔がおそい、一時的に無意識常態になるなど、さまざまな問題を起こしているのです。

睡眠中に無呼吸になるのは様々な原因がありますが、口腔内の状態を改善することにより、無呼吸症状を解消（緩和）することはできます。

では、口腔内をどうすればいいのでしょうか。

個々人は全て口腔内の形状が違い、口腔領域を見て、咬合口径を保ち、限りなくお口の中を広げることが大切です。そして、それぞれに合った対処方法が歯科にはあります。

無呼吸症状に対し、今一番求められ、認められているのは歯科医師なのです。

そして、当社には口腔内装置K 3Wスプリント・ショットスプリントの技術があります。個々人の口腔状態に合わせて製作しますので、装着するだけで無呼吸症状が改善し、血中酸素濃度を確保します。

2020年2月号「歯科技工」オーラルアプライアンス製作における技工操作の要点  
-「いびき」を止め、酸素飽和度を上げるための歯科的装置のチェックポイント 文献あり

基本に基づいた歯科医師のスキルで改善する。今が腕の見せどころです。